**2016年度 第3回 筑後ブロック研修会**

**「現代社会における生きづらさとは何か」**

**～社会福祉士は利用者と共にどのように希望を見つけていけるのか～**

貧困・孤立などが進む社会の中で、私たちは目の前にいる人と、どうやって一緒に希望を持ち、生き続ければよいのでしょうか？豊富な学識と経験をお持ちの加藤彰彦氏に、貧困や孤立を子どもから高齢者、地域社会に渡り、その現状と問題点、今後の展望をお話しいただきます。

そして、私たち社会福祉士への期待を、常に弱者の中に身を置いて生きてこられた経験から語りかけて頂きます。その語りから、私たちに何が出来るかを、具体的に集まった仲間で考えてみませんか？共に学び、共に育ち合いましょう！

**講師**：**加藤　彰彦（ペンネーム　野本 三吉）氏**

【講師紹介】

・横浜国立大学を卒業。

・小学校の教員となり、4年後に退職。

・北海道から沖縄まで放浪の旅に出て、日本各地の共同体を訪ねつつ、酪農や日雇い労働などの様々な仕事を経験。その後、日本3大スラム街の1つ寿町にある横浜市立寿生活館の相談員となり、のちに児童相談所の児童福祉司になる。スラム街に共に住みながら、貧困状態にある子ども・家族や港湾労働者の支援のため精力的に活動を続ける。

・1991年に横浜市立大学の教員（社会福祉論）、1993年に日本社会臨床学会設立に尽力。  
・2002年に沖縄大学の教員（児童福祉論）、2010年に学長に就任。

・2014年3月まで沖縄大学学長、現在は沖縄大学名誉教授。

・数多くある著書は、野本 三吉（ペンネーム）著として出版。

著　書『風の自叙伝‐横浜・寿町の日雇労働者たち』（新宿書房・1996）

『裸足の原始人たち‐横浜・寿町の子供たち』（新宿書房・1996）

『子どもとつくる地域づくり‐暮らしの中の子ども学‐』（学苑社・2014）

『生きること、それがぼくの仕事‐沖縄・暮らしのノート』（社会評論社・2014）

『貧困児童‐子どもの貧困からの脱出』（創英社・2016） 他多数。

**●日時　　　　　　　　　　　　　●場所**

**3月11日（土）　聖マリア学院大学 5号館　522講義室**

14：00 ～ 17：00　　　 久留米市津福本町422番地（西鉄津福駅徒歩7分）

（受付開始　PM1：30～）　　駐車場は聖マリア病院の有料駐車場を利用ください

(参照)http://www.st-mary.ac.jp/guide/facilities/

**●定員 ●参加費（資料代）**

100名 （先着順） 　　会員・学生 500円　非会員 2,000円

**●申し込み方法**

共用の「研修会参加申込書」に必要事項を記入の上、2月25日までにメール、またはFAXにて**福岡県社会福祉士会事務局**までお申し込みください。

**●研修単位**

旧生涯研修制度　共通研修過程　3単位 新生涯研修制度　生涯研修制度独自の研修　3時間

お問い合わせ先

◆加倉俊輔　大牟田市立病院　地域医療連携室　 0944-53-1061

◆緒方弘征　大牟田市吉野地区地域包括支援センター　0944-41-6025